



© ISA

田原市サーフタウン構想

～戦略プラン～

概要版



平成31年4月時点
愛知県田原市

■ 田原市サーフタウン構想～戦略プラン～**概要版** 目次

第1部 田原市サーフタウン構想の戦略プランの取りまとめにあたって

1. 田原市サーフタウン構想とは 2
2. 構想及び戦略プランの取りまとめの背景 2
3. 目標年次 3
4. 構想の中心となる地域 3
5. 構想の展開 3
6. 構想の位置づけと関連計画 4

第2部 田原市サーフタウン構想の戦略プランの取組の方向性

1. 構想実現のための施策展開 5
2. 取組の方向性 6

第3部 田原市サーフタウン構想のゾーン別将来像 7

第4部 田原市サーフタウン構想の戦略プランの実施事業一覧 8

■ 参考資料

- 田原市サーフタウン構想の戦略プランの取りまとめの経過(概要) 9
- 田原市サーフタウン構想(将来イメージ) 10





▲(仮称)弥八島海浜公園の入口に設置した、サーフタウン構想の重点整備地区である弥八島周辺を中心とした将来イメージを描いた看板〔平成30年8月設置〕



第1部 田原市サーフタウン構想の戦略プランの取りまとめにあたって

1. 田原市サーフタウン構想とは

「田原市サーフタウン構想とは ニサーフィンを切口にしたまちづくり」

本市には、サーフィンの世界大会等が開催される全国的にも有名な「太平洋ロングビーチ」や「ロコポイント」等があり、一年を通じて安定した波が打ち寄せるサーフスポットに魅せられた多くのサーファーが訪れています。

田原市サーフタウン構想とは、この利点を活かして、赤羽根地域を中心に、サーファーをはじめとする若者・子育て世代の移住数を増加させる施策等を進めることで、赤羽根地域の活力維持・拡大を図り、赤羽根地域だけでなく本市全域へと波及させ、持続的なまちづくりの発展へとつなげることを目指すものです。



2. 構想及び戦略プランの取りまとめの背景

田原市の人口は、これまで緩やかな増加傾向にありましたが、2005年から2010年にかけて減少に転じ、国立社会保障・人口問題研究所の推移によると、2040年の田原市の人口は50,885人まで減少するとされています。

この人口減少に対応するため、田原市人口ビジョン(平成28年3月)を策定し、人口増加に寄与する様々なハード・ソフト施策を積極的に進め、2040年に60,000人以上を目指すこととしています。

そこで、本市においては、サーフィンという市の特長である地域資源を最大限活用し、交流人口の拡大による地域活性化を図り、定住・移住促進につなげる施策を展開することとし、田原市まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成28年3月)の定住・移住促進の具体的施策として「サーファー等の移住促進」を位置付け、地域再生計画「サーフタウン構想実現(サーフィン×観光)」(平成28年度～平成30年度)を策定し、地方創生推進交付金を活用しながら調査・検討等を進めてきました。

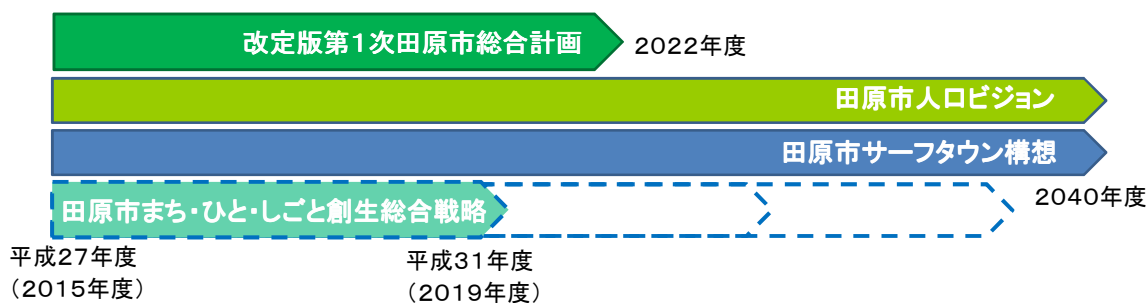
平成30年度には、赤羽根地域の住民によるサーフタウン構想検討委員会を立ち上げ、地元の意見を伺いながら田原市サーフタウン構想を取りまとめ、構想を実現するための戦略プランを策定しました。



3. 目標年次

目標年次は、田原市人口ビジョンにあわせて2040年度とします。戦略プランの実施事業については、短期、中期、長期と、おおよその事業期間も記載しています。

- ◆短期(平成27年度～平成31年度)※現行の総合戦略の取組期間
- ◆中期(2020年度～2024年度)
- ◆長期(2025年度～2040年度)



4. 構想の中心となる地域

改定版田原市都市計画マスタープラン(平成28年3月)において、観光・交流拠点として位置付けている赤羽根地域を、田原市サーフトown構想の中心となる地域と設定します。

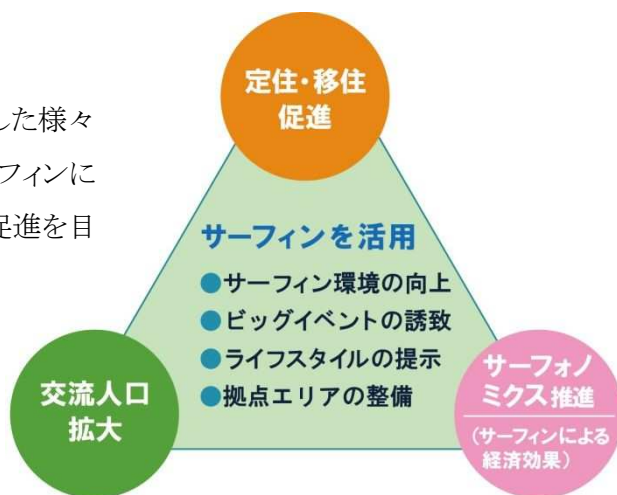
【重点整備地区】

なかでもサーフィンの玄関口でもあり、2018 ISAワールドサーフィングゲームスが開催された太平洋ロングビーチがある弥八島周辺を、田原市サーフトown構想の重点整備地区と設定します。



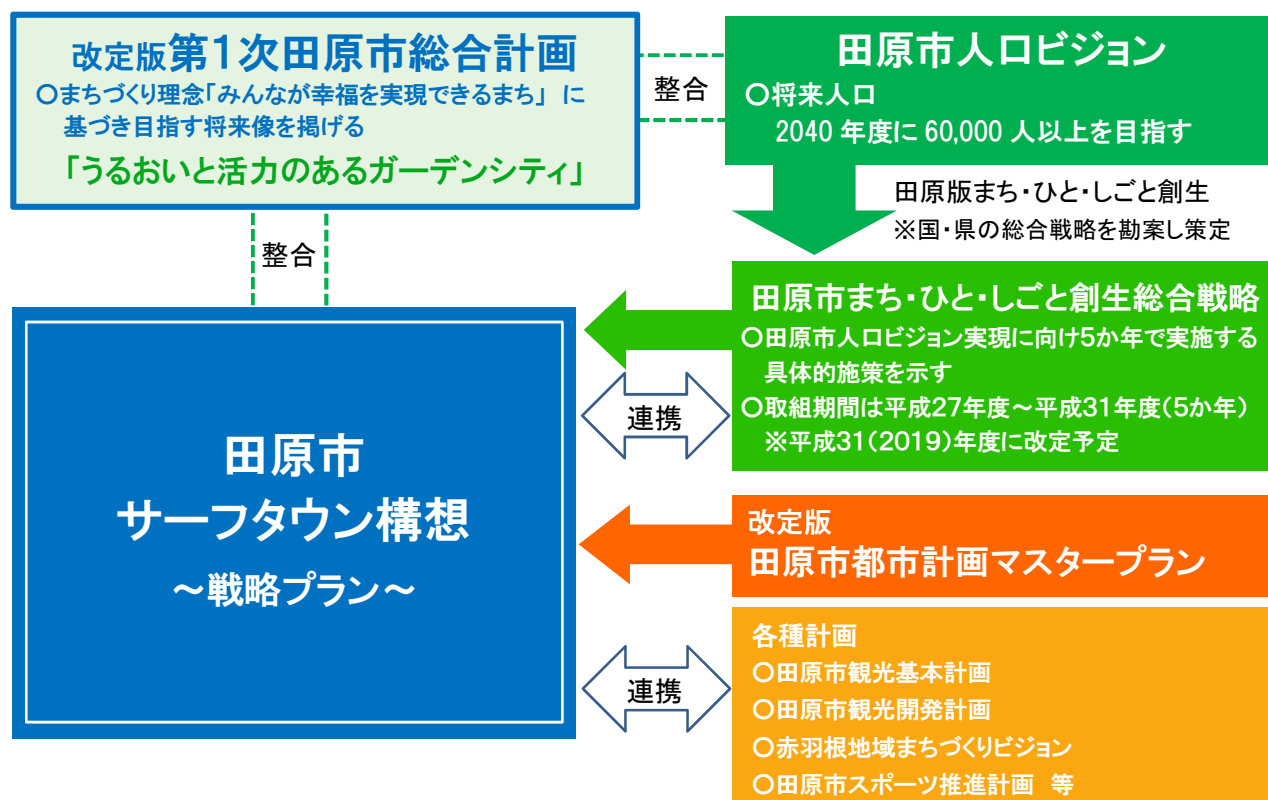
5. 構想の展開

田原市サーフトown構想の展開は、サーフィンを活用した様々な施策を実施することにより、交流人口拡大を図り、サーフィンによる経済効果「サーフォノミクス」を高めつつ、定住・移住促進を目指すものです。



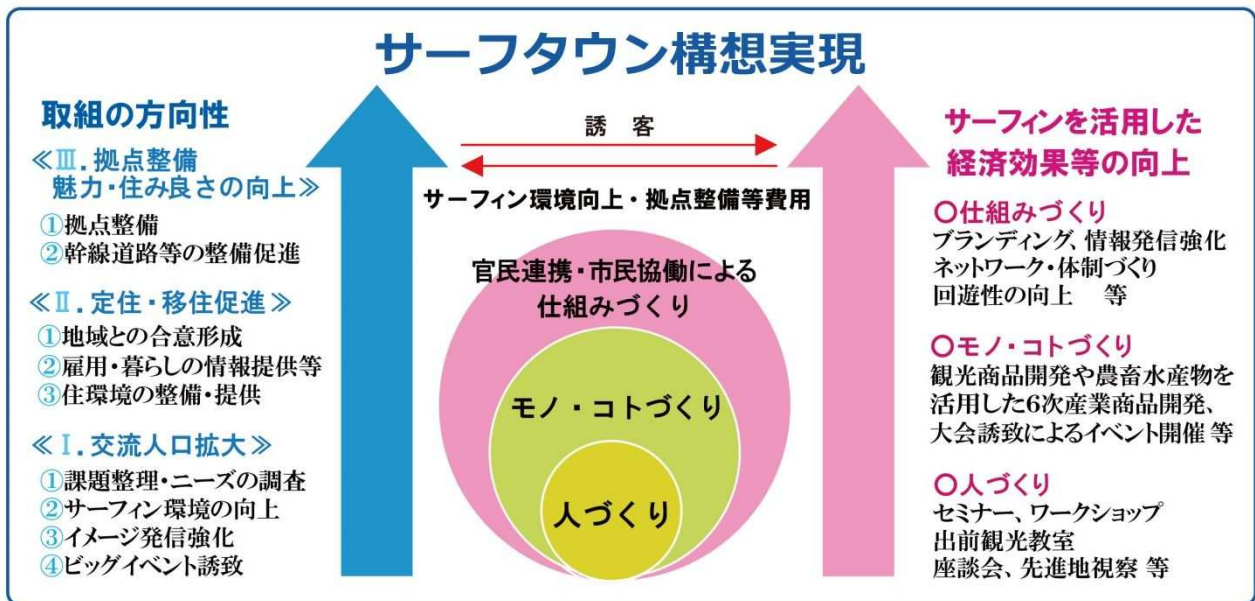
6. 構想の位置づけと関連計画

田原市サーフトown構想は、市の最上位計画である改定版第1次田原市総合計画（平成25年3月策定）の基本構想及び基本計画の理念を引き継ぎ、整合を図りながら策定した田原市まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成28年3月）及び改定版田原市都市計画マスタープランに基づき取りまとめています。



第2部 田原市サーフタウン構想の戦略プランの取組の方向性

1. 構想実現のための施策展開



田原市サーフタウン構想実現のため、「交流人口拡大」「定住・移住促進」「拠点整備 魅力・住み良さの向上」の3つを施策の柱とし取り組んでいきます。

また同時に、官民連携・市民協働によるワークショップ等を通じた「人づくり」、観光商品開発等を通じた「モノ・コトづくり」、地域ブランディングやネットワーク・体制づくり等を通じた「仕組みづくり」を推進しながら、サーフォノミクスの向上を目指し取り組んでいきます。

これらを連動させながら、構想の戦略プランに基づく実施事業の推進とサーフォノミクスの向上を図ることにより、サーフタウン構想の実現を加速化させます。



2. 取組の方向性

I. 交流人口拡大

サーフィンの活用と観光施策をさらに連動させ、市全体でサーファー・観光客等を受入れる体制づくり・環境整備を図ります。

- ①サーフィン活用の課題整理・サーファーニーズの調査
(サーフトOWNとしての諸条件の整理等)
- ②サーフィン環境の向上
(海岸周辺のアメニティ向上、Wi-Fi 環境整備、防災・津波対策強化、道の駅高質化、浜辺の美化・保全、海岸浸食・崖森崩落対策等)
- ③イメージ発信の強化
(サーフィンによるシティセールス、サーフィンに親しむ機会の創出、サーフィン業活性化等)
- ④ビッグイベント誘致
(全日本大会・世界大会誘致等)

II. 定住・移住促進

地域コミュニティの合意形成を図りながら、サーファーをはじめとする若者・子育て世代の移住数を増加させる施策等を進めることで、赤羽根地域の活力維持・拡大を図ります。

- ①地域コミュニティとの合意形成
(サーファーと地域住民との理解促進、マナー向上・地域貢献啓発等)
- ②雇用・暮らしの情報提供等
(田原型ライフスタイルの提示、雇用・住環境の情報提供及びサポート等)
- ③宅地開発や空き家活用による住環境の整備・提供
(関連施策との連携、地域との連携等)

III. 拠点整備、魅力・住み良さの向上

サーフトOWN構想実現のため、市内3道の駅、観光施設、サーフスポット等の回遊性を高めるとともに、太平洋ロングビーチ・ロコポイント周辺の拠点整備を進めます。

- ①弥八島・ロングビーチ・ロコエリア等の拠点整備
(拠点エリア一帯の機能向上、便益施設の整備等)
- ②幹線道路等の整備促進
(交通アクセスの時間短縮・利便性向上等)

事業実施の期間

- ◆短期(平成27年度～平成31年度)※現行の総合戦略の取組期間
- ◆中期(2020年度～2024年度)
- ◆長期(2025年度～2040年度)

第3部 田原市サーフタウン構想のゾーン別将来像

構想のゾーン別将来像

A 観光拠点ゾーン 道の駅あかばねロコステーション周辺

観光案内や飲食機能を持つサーファーや観光客の観光拠点。

- レストラン、観光案内所、レンタサイクル等

B 居住誘導ゾーン 赤羽根町天神及び新笹周辺

定住・移住推進エリア。

- 田原赤羽根土地地区画整理事業

B1・2 居住誘導ゾーン 高松町弥八島周辺

日常に自然が溶け込むサーファー移住推進エリア。

- サーファーズハウス ※街並みなどの景観を統一

C1 沿道サービスゾーン ロングビーチ北から田原市赤羽根市民センター交差点までの国道42号沿い

開放的な雰囲気ロードサイド型店舗エリア。

- レストラン・物販施設等の中規模店舗、サーフショップ等を想定

C2 沿道サービスゾーン ロングビーチ北交差点から(仮称)弥八島海浜公園までの道路沿い

まち歩きを楽しめる南国風小規模店舗エリア。

- カフェ・雑貨店等の小規模店舗、サーフショップ、レンタサイクル等を想定

D1 自然交流ゾーン(西海岸) ロコパーク

海が近い、憩いと交流の場。

- 公園、イベント広場、遊具等

D2 自然交流ゾーン(弥八島) (仮称)弥八島海浜公園

緑に囲まれた滞在の拠点。

- 宿泊施設、キャンプ場、バーベキュー施設、散策路、展望施設等を想定

E 海辺のまちゾーン(市街化区域) 赤羽根市街化区域

海の雰囲気が融合した住みやすいまち。

- 居住誘導、空き家を活用、空き家を利用したコミュニティスペース、カフェ、展望施設等

ウエルカムロード 赤羽根市街化区域を中心とした国道42号

海の雰囲気や自然の豊かさを感じられるロード。

- サーフタウンらしい看板、サイン、南国風の樹木・花等

サーフィンロード サーフポイントへのエントランス及びロコポイント・太平洋ロングビーチ前の道路

サーフタウンの景観を楽しめるロード。

- サーフタウンらしい看板、サイン、南国風の樹木・花、コンテナショップ・キッチンカー、駐車場、シャワー、トイレ、休憩所等

第4部 田原市サーフタウン構想の戦略プランの実施事業一覧

【I. 交流人口拡大】

事業名等	ゾーン	実施期間			取組の方向性
		短期	中期	長期	
[1] サーフィン活用の課題整理・サーファーマーズ調査		●			I-①サーフィン活用の課題整理・サーファーマーズの調査
[2] 駐車場拡充・整備検討	D1		●	●	I-②サーフィン環境の向上
[3] 駐車場有料化検討	D1	●			
[4] 仮設トイレ設置事業		●			
[5] トイレの洋式化	D1	●			
[6] シャワー設置事業	D1	●			
[7] 民間シャワー整備促進補助		●			
[8] サーフスポットWi-Fiサービス事業	D1	●			
[9] 太平洋ロングビーチ拠点整備事業		●			
[10] ロコエリア拠点整備事業	A1	●			
[11] 赤色回転灯付防災無線設置事業		●			
[12] 道標プロジェクト(津波セーフティライン)事業		●			
[13] 避難先案内看板改善事業		●			
[14] 海岸浸食・崖崩落対策		●	●	●	
[15] サーフタウンシンボル看板設置事業	D2	●			I-③イメージ発信の強化
[16] ビーチクリーン活動		●	●	●	
[17] 沿道植栽の検討	W・S	●	●	●	
[18] 広域連携によるサーフィン環境の向上		●	●	●	
[19] サーフポイント案内看板設置検討		●			
[20] サーフタウンプロモーション事業		●	●	●	
[21] 観光地域づくり事業		●	●		
[22] 観光スポット整備等の検討		●	●	●	
[23] サーフィン教室・トップアスリートの育成(競技人口拡大)		●	●	●	
[24] サーフィン大会支援、世界大会誘致		●	●	●	I-④ビッグイベント誘致

※W・・・ウエルカムロード、S・・・サーフィンロード

【II. 定住・移住促進】

[25] 地域コミュニティとの合意形成		●	●	●	II-①地域コミュニティとの合意形成
[26] 定住・移住PR事業		●	●	●	II-②雇用・暮らしの情報提供等
[27] たはら暮らし定住・移住サポーター制度の創設・運用		●	●	●	
[28] 赤羽根まちなか情報案内マップ作成	E	●			
[29] 農業就業推進		●	●	●	II-③宅地開発や空き家活用による住環境の整備・提供
[30] スローライフ住宅調査・提案		●			
[31] 赤羽根地域の空き家・空き地の調査・活用事業		●	●	●	
[32] サーファーズハウス住宅開発事業の検討※重点整備地区	B1・2	●	●		
[33] 空き家リノベーション検討	E		●	●	
[34] 赤羽根土地区画整理事業	B	●	●		

【III. 拠点整備、魅力・住み良さの向上】

[35] (仮称)弥八島海浜公園の拠点整備事業※重点整備地区	D2	●	●		III-①弥八島・ロングビーチ・ロコエリア等の拠点整備
[36] 観光関連施設誘導※重点整備地区	C1・2	●	●		
[37] ロングビーチ・ロコパーク間の道路整備検討		●			
[38] イベント広場整備検討	D1	●			
[39] 光ファイバー敷設事業		●			III-②幹線道路等の整備促進
[40] 道の駅田原めつくんはうすリニューアル事業		●			
[41] 幹線道路信号交差点現状把握調査		●			

■ 田原市サーフタウン構想の戦略プランの取りまとめの経過(概要)

取りまとめの経過

【平成27年度】

- ・田原市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定
※総合戦略に、定住・移住促進の具体的施策として「サーファー等の移住促進」を位置付け

【平成28年度】

- ・サーフタウン基本構想図(検討図案)作成
- ・サーフィンの街を実現するための意識調査

【平成29年度】

- ・サーフタウン構想基本構想図(案)及び具体的な実施事業(案)の検討
- ・サーフタウン構想に関連する住宅整備関連調査
- ・サーフタウン構想に関連する空き家活用調査

【平成30年度】

- ・サーフタウン構想将来イメージ公表及び具体的な実施事業の検討及び取りまとめ
- ・議会に田原市サーフタウン構想の概要(案)及び将来イメージ(案)の説明
- ・赤羽根地域コミュニティ連絡協議会、高松役員会、一色住民に、田原市サーフタウン構想の概要(案)及び将来イメージ(案)の説明
- ・サーフタウン構想検討委員会(市民会議)を立ち上げ、具体的な実施事業等の検討〔平成30年7月～平成31年3月〕
- ・田原市まち・ひと・しごと創生連携会議で田原市サーフタウン構想の概要(案)及び将来イメージ(案)の説明
- ・田原市サーフタウン構想(将来イメージ)の公表
- ・たはら暮らし定住・移住サポーター制度の検討
- ・(仮称)弥八島海浜公園活用事業サウンディング型市場調査
- ・サーフタウン構想戦略プラン取りまとめ
※市民会議では、赤羽根地域3校区から委員を選出し、サーフタウン構想検討委員会を立ち上げ検討を実施
※庁内会議では、田原市・まち・ひと・しごと創生本部(部長級)、合同部会(課長級等会議)、サーフタウン構想実現ワーキング(係長級会議)において検討を実施



田原市

サーフタウン構想(将来イメージ)

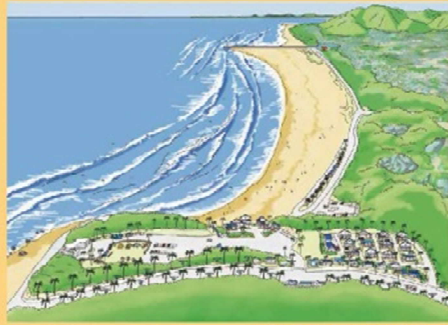


サーフタウン基本構想図

※サーフタウン基本構想図は、中心となる赤羽根地域におけるまちづくりの方向性及びハード整備等をプロットしたものである



サーフタウン基本構想図における弥八島周辺の将来イメージ



●弥八島周辺の鳥瞰図



●沿道店舗



●宿泊施設



●サーファーズハウス





田原市サーフタウン構想～戦略プラン～概要版

- 平成31年(2019年)4月時点
- 愛知県田原市 企画部 人口増企画室
〒441-3492 愛知県田原市田原町南番場 30-1
TEL:0531-23-3728 FAX:0531-23-0669
E-mail:jinkou@city.tahara.aichi.jp